ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

ボーリングNO.									
シートNO.									

ボーリング名	B-3	調査位置				北　緯	36 ° 34 ’ 25.1781 ”
発 注 機 関	栃木県真岡土木事務所			調査期間	2010-08-24 ～ 2010-08-31	東　経	140 ° 08 ’ 37.0347 ”
調 査 業 者 名		主任技師		現　場 代 理 人		コ　ア 鑑 定 者		ボーリング責任者	
孔 口 標 高	164.39 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南 .00 °	地盤勾配	鉛直 水平 0° 90° 10.00 °	使用機種	試 錐 機		ハンマー落下用具	
総 掘 進 長	6.45 m								エンジン		ポ ン プ	

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
1 2 3 4 5 6	160.14 159.59 157.94	4.25 0.55 1.65	4.25 4.80 6.45		ローム (Lm) 旧崖錐堆積物 (Tl) 凝灰角礫岩 (Tb)	暗褐 茶褐～黄褐 茶褐 暗褐 暗茶褐			0.00～1.50mは木根を含む。 0.80～1.00mに茶褐色軽石層を挟む。 1.70～1.85mに黄色軽石層を挟む。 1.85～3.40mは粘土化した火山灰で均質である。 3.40～4.25mは粘性のある小さなφ2cm以下の礫混じり粘土化した火山灰。 φ1～3cmの風化火山礫と弱風化火山礫を含む。 無水掘削である。 岩の組織が残る。 φ0.5～3cm程の火山礫を多く含む。 火山礫はほとんど風化している。		08/27 08/27

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0－10	10－20	20－30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	1／11	1	2／11	4／32	4
1.47					
2.15	1	2	2	5／30	5
2.45					
3.15	2	2	2	6／30	6
3.45					
4.00	00／15	1／12	1	2／37	2
4.37					
5.15	3	6	7	16／30	16
5.45					
6.15	6	7	13	26／30	26
6.45					

原位置試験

深度 (m)	試験名および結果

試料採取

深度 (m)	試料番号	採取方法

室内試験

掘進月日